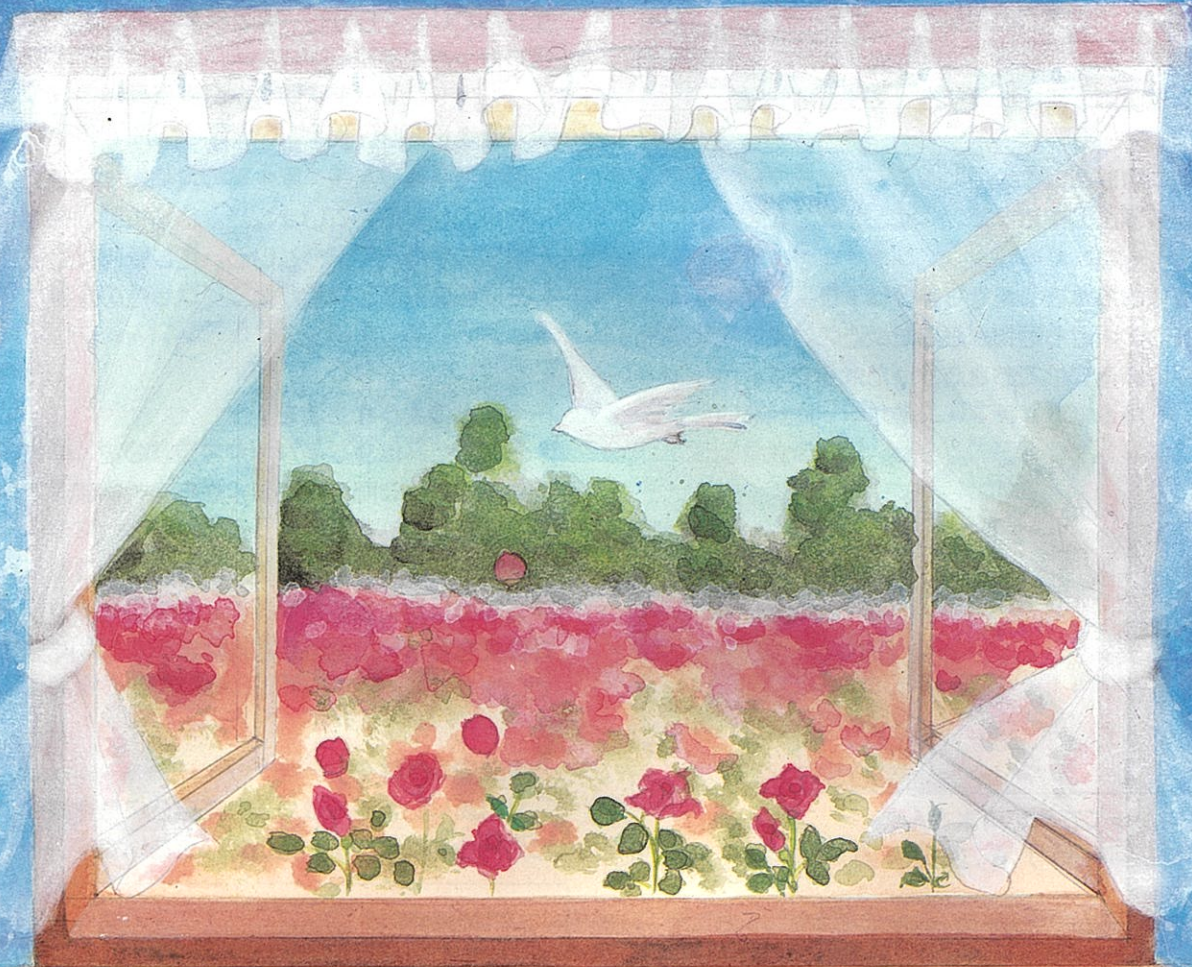


しらおか男女共生広報紙

ハーブティ

1999. 5

第 2 号



Juncho
A.

「女性だから...」

「男性だから...」

(職業編)

～自分らしい生き方

さがしてみませんか～

以前NHKの朝の連続テレビ小説で、若い女性が大工を志し、受け入れてもらうまでの奮闘を描いたドラマがありました。実際にも「男性のする仕事」、「女性がすべき仕事」というふうに分かれてしまっていることがあります。「女性だからダメ」、「男性だからできない」という前にちょっと考えてみませんか。

今回は「職業」をテーマに、以前は異性の分野と思われていた職域で、現在活躍されているお二人を紹介いたします。

まずはじめに、白岡町で動物病院を開業して10年目になる獣医師、清水友季子さんです。

—最初に家族構成についておねがいします。

同じく獣医の夫と7歳、4歳、2歳の5人家族です。

—獣医になろうとしたきっかけは？

子どもの頃から動物が好きだったことと、女性でも何か手に職をつけておきたかったからです。



向かって左側が清水さん

—当時はまだ、女性の少ない職業だと思いますが、「女性」ということで大変だったことは？

学生の頃は獣医を目指す人は2割くらいだったと思いますが、特別、学校でも職場でも大変な思いはありませんでした。しかし、大きい動物のときは体力的にきつかったですね。

—「職場」といいますと…？

学校を卒業した後、厚生省の食品衛生監視員、つまり検疫の仕事をしていました。結婚後は、帰宅してから病院の手術を手伝うという、忙しい日々を過ごしました。私の出産と病院が忙しくなったのを機に退職しました。

—今はどのような生活を？

子どもたちにまだ手がかかりますので、学校や保育園に行っている間に治療や手術等を行います。

—家事などはどうしていますか？

食事のしたくは私がすることが多いですが、それ以外は夫も積極的に協力してくれますので、本当に助かっています。

—今後の目標は？

常に新しい情報を取り入れて自分自身を高め、二人で力を合わせて病院を築いていきたいです。

次に、町内の特別養護老人ホーム「光乃里」の寮父、川田義則さんにお話を伺いました。

—現在おいくつですか？

昭和45年生まれの28歳です。

—なぜ、この職業を選ばれたのですか？

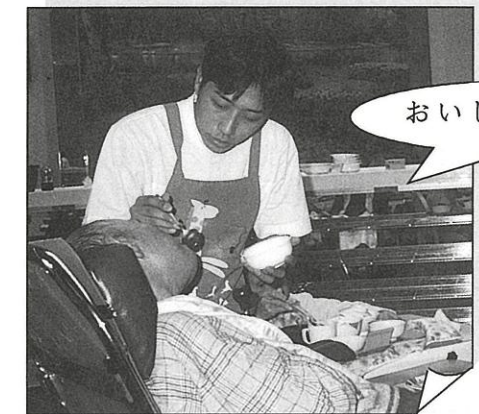
これからの社会に必要な性のあるこの仕事を一生の職業にしようと、一般企業から1年前に転職しました。

—お仕事の内容は？

食事から入浴、排泄など生活全般のお世話です。入所者に「いっしょに頑張ろう」と励ましながら接しています。

—「お世話」は女性のほうが得意分野と思っている方も多いのではないかと思います…

女性には女性の細やかさ、やさしさがあります。箸の置き方ひとつにもドキッとさせられたこともあります。でも、入浴の介助や移動などの力仕事もあり、オムツの交換は同性にと望む人もいて、介護は女性だけのものとは限らないと思います。



—共働きとお聞きしましたが、家事などは…？

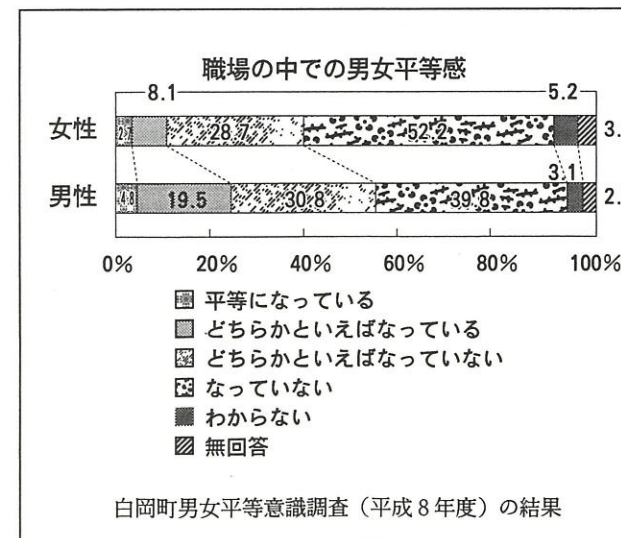
家事は全く半分というわけではありませんが、協力的に分担しているつもりです。

—今後の自分なりの仕事に対する目標などは？

福祉の勉強を続けながら、入所者の方々に快適に過ごしてもらえよう、これからも努力していきたいです。

4月には男女雇用機会均等法も改正されました。「男の職業」、「女の職業」という古い固定観念を捨てて、やりたいことをやりたい人がする—それを自然に認め合うことが男女共生の社会です。

仕事に男も女もあるかしら…



よってらっしゃい! みこらっしゃい!

ねえ、今年の4月に改正された「男女雇用機会均等法」って知っている？

うん。たとえば、求人案内で、「男性営業社員」、「セールスレディ」のように男性、女性を区別した募集はしちやいけなんでしょう。

そうなの。他にね、「ポジティブ・アクション(積極的差別是正策)」が新しく加わったのよ。

なに、そのポジ…なんかついて？

「ポジティブ・アクション」はね、たとえば、男性中心の職場の中で、採用や昇進で一定の条件を満たす男女がいた場合、男性より女性を優先的に扱うことができるとするものなのよ。

これからは女性の管理職も増えるわね。

もう、すでに欧米やお隣の韓国は取り組んでいるそうよ。

日本もようやく、目覚めたところかしら。「建前」ではなく、本当に社会が大きく変わることを期待したいわ。

海の向こうでは

アメリカ、シアトルでは、毎年、Women in Trades Fair(女性技能職人祭り)が開催されています。これは、かつて少数だった女性技能職人の情報交換と交流の場を設けたことが始まりだそうです。

現在、米国では、建築や土木の分野で多数の女性が男性と対等に仕事をしています。この背景にはポジティブ・アクション(前述)を取り入れたことにあるそうです。

日本でも、最近、女性の男性職域への進出が進んできています。この春の法改正でさらに増えることを願っています。

2月20日、3月6日と20日の3回にわたり、町教育委員会主催による男女共生セミナーが開催されました。今回は“共に生きる未来を見つめて”と題し、3人の講師の方々が毎回それぞれの視点から「家庭・家族」について語られました。

2月20日の金子朝子氏は、女性問題の歴史や現在の世界規模での取り組みの話題から人権・義務・平等をテーマに広い視野で語られました。「男女が共にいきいきと暮らすには女性自身の気づきも必要」という言葉が印象的でした。

3月6日の小山田治子氏の講演では、「家庭」について取り上げ、特に「家庭は愛と安らぎの場であり、そこには無条件の人と人とのふれあひが必要である」



という話が心に残りました。

3月20日の伊藤恵造氏は、カウンセリングルームの相談事例から家族のコミュニケーションの大事さや親の役割、そして自分自身を受け入れる心のゆとりについて話されました。

今回はテーマが身近なこともあり、参加者もほぼ定員を満らし、関心の高さを示していました。また、特色としては、公募による実行委員がこのセミナーを企画、運営したり、初の試みとしてボランティアによる託児を取り入れた住民参加型のセミナーとなりました。

～参加者の声より～

- *「意識」の変革こそがまず第一歩。今日から私も始めようと思います。
- *講演だけでなく、グループ別で話し合える時間があつたら良かった。
- *託児があつたので参加する気になりました。他の講座でもあるといいですね。

★おいしくって、簡単!

～もっとハーブを楽しもう～

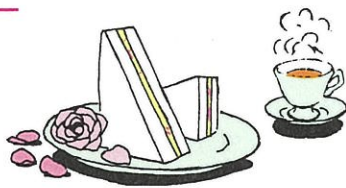
*バラの花のバター

<材料>

バラの花…1カップ
バター…200g

<作り方>

- ①バターは溶かさないう気をつけ、室温にもどす。
 - ②花びらを細かく刻み、①に混ぜる。
- ガラス容器に入れ、新鮮なうちにどうぞ。



*ひと味ち・が・う ポテトサラダ

<材料>

ハチミツ…小さじ1～大きじ1 (好みの加減で)
ローズマリーやタイムなどのハーブ類…少々
酢、塩、こしょう…各適宜 ポテトサラダ

<作り方>

- ①いつものポテトサラダにハーブ類を加え、酢、塩、こしょうを好みの量入れる。
 - ②ハチミツを味加減しながら加える。
- 冷蔵庫で冷やして出来上がり。

さあ、バラの花のサンドウィッチとポテトサラダ。
ハーブティーとともに初夏の楽しいひとときを…♡

埼玉県主催『国際女性フォーラム in 彩の国』より

2月20日(土)・21日(日)の両日、大宮ソニックシティにおいて、世界から見えてくる女性問題をテーマに『国際女性フォーラム in 彩の国』が開かれました。

初日の午前は基調講演、午後は3つのテーマで分科会がもたれ、意見交換が行われました。

2日目は県内各地で活動している52団体によるワークショップが開かれ、女性問題、国際協力、環境問題などさまざまな分野に関する討論や活動報告がありました。

～編集後記～

『国際女性フォーラム』の交流会での土屋知事、「これからも地域の女性力と活動に期待しています」とあいさつ。まさにそのとおり、がんばります!! (中根)
『ハーブティ』も住民主体の委員会です。第2号も会議を重ね、内容はもちろんのこと、表紙、イラスト、写真と満載できました。みんなでハーブティーで乾杯!! (小野)

編集委員 浅野 悦子 井上 由香 小野由馨枝
金子美津江 中根 正義 渡辺 幸代

発行
編集

白岡町政策課 ☎ (92) 1111 内線 373
しらおか男女共生広報紙編集委員会
ご意見、ご感想をお待ちしています。